

フラッシュ開発ツールキットのユーザーズマニュアル訂正のお知らせ

フラッシュ開発ツールキットV.3.06 Release 00～V.4.06 Release 01のユーザーズ マニュアルの訂正を連絡します。

1. 該当マニュアル

フラッシュ開発ツールキットV.3.06 Release 00～V.4.06 Release 01の
ユーザーズマニュアル

ユーザーズマニュアルのタイトルは以下のとおりです。

フラッシュ開発ツールキット3.06ユーザーズマニュアル
フラッシュ開発ツールキット3.07ユーザーズマニュアル
フラッシュ開発ツールキット4.00ユーザーズマニュアル
フラッシュ開発ツールキット4.01ユーザーズマニュアル
フラッシュ開発ツールキット4.02ユーザーズマニュアル
フラッシュ開発ツールキット4.03ユーザーズマニュアル
フラッシュ開発ツールキット4.04ユーザーズマニュアル
フラッシュ開発ツールキット4.05ユーザーズマニュアル
フラッシュ開発ツールキット4.06ユーザーズマニュアル

2. 該当箇所

8.8節 16進数エディタウィンドウ

誤：

FDTはまた、デフォルトではテキストベースのファイル(SレコードまたはDDI)を大文字で保存します。元のファイルが小文字、または大文字と小文字の混在であった場合でも、大文字で保存されます。これは他の Renesas ツールとの互換性を向上させるためで、3.06からの新機能です。FDT.iniファイルにエントリを追加することで、変更が可能です。

```
[ECXSRecordView]
```

```
LowerCaseSRecordSave=1
```

このように入力すると、FDTは大文字小文字を区別し、小文字のファイルを元のフォーマットのまま保存できます。

正：

FDTはまた、デフォルトではテキストベースのファイル(SレコードまたはDDI)を大文字で保存します。(但し、レコード長は小文字)

データ、チェックサムの小文字への変換は、FDT.iniファイルにエントリを追加することで、変更が可能です。

```
[ECXSRecordView]
```

```
LowerCaseSRecordSave=1
```

このように入力すると、レコードタイプ、アドレスは大文字、その他のレコード長、データ、チェックサムは小文字で保存します。

3. SレコードフォーマットファイルおよびDDIファイルの保存仕様

ユーザズマニュアルに間違いがありました。フラッシュ開発ツールキットV.3.06 Release 00～V.4.06 Release 01のSレコードフォーマットファイルは以下のとおり保存されます。

- レコードタイプ：大文字
- レコード長：小文字
- アドレス：大文字
- データ：大文字または小文字 (注)
- チェックサム：大文字または小文字 (注)

注：デフォルトは大文字です。FDT.iniファイルに以下のエントリを追加することで小文字に変更できます。

```
[ECXSRecordView]
```

```
LowerCaseSRecordSave=1
```

4. SレコードフォーマットファイルおよびDDIファイルの保存仕様の変更予告

2011年2月末リリース予定のV.4.07 Release 00では仕様を変更する予定です。

詳細は2011年2月末発行のRENASAS TOOL NEWSを参照ください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。